

竹林化学工業株式会社
安全データシート作成 : 2012年09月12日
改定②: 2023年12月4日

1. 化学品及び会社情報

製品名 : スチレングード高粘度品
会社名 : 竹林化学工業株式会社
住所 : 大阪府東大阪市洪川町3丁目1番43号
担当部門 : 品質管理部
電話番号 : 06-6721-6165
FAX番号 : 06-6720-7308
緊急連絡先 : 06-6721-6165
奨励用途と使用上の制限 : 工業用
整理番号 :

2. 危険有害性の要約

重要な危険有害性及び影響 : -
GHS分類 : 分類基準に該当しない。
物理化学的危険性
引火性液体 : 分類できない
健康に対する有害性
急性毒性 (経口) : 分類できない
(経皮) : 分類できない
(吸入; 気体) : 分類できない
(吸入; 蒸気) : 分類できない
(吸入; 粉じん及びミスト) : 分類できない
皮膚腐食性/皮膚刺激性 : 分類できない
眼損傷性及び眼刺激性 : 分類できない
呼吸器感作性 : 分類できない
皮膚感作性 : 分類できない
生殖細胞変異原生 : 分類できない
発ガン性 : 分類できない
生殖毒性 : 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない
誤えん有害性 : 分類できない
環境に対する有害性
水生環境有害性 短期(急性) : 分類できない
水性環境有害性 長期(慢性) : 分類できない
オゾン層への有害性 : 分類できない

竹林化学工業株式会社

GHSラベル要素

絵表示 : なし

注意喚起語 : なし

危険有害性情報 : なし

注意書き

GHS基準では無し。

[安全対策] : 使用前に取扱説明書を入手し、全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

作業所には局所排気装置を設け、換気を良くし、蒸気・飛沫を吸い込まないようにすること。

取扱い後はよく手洗いうがいをする。

[応急措置] : 取り扱った後、手を洗うこと。

次の場合は直ちに医師に連絡し診断/手当てを受けて下さい。

(皮膚刺激、発疹が生じた場合、眼に入った場合、気分が悪い場合、
身体上の異常が生じた場合。)

飲み込んだ場合: 多量の水を飲ませ吐かせる。意識の無い場合は口から何も与えてはならない。医療処置を受ける。

皮膚に付いた場合: 直ちに石鹼水か多量の水で洗い流し、皮膚刺激が生じた場合は医師の診断を受けること。

眼に入った場合: 直ちに清浄な流水で15分以上洗眼した後、医師の処置を受けること。

気分が悪いときは、直ちに医師の診断を受けること。

[保管] : 冷暗所に保管すること。

子供の手の届かない場所に保管すること。

[廃棄] : 内容物/容器を廃棄する時は、関係省令に基づき、自社で適正に処理するか又は廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物

成分及び含有量 : ① ポリビニルアルコール 25~35%
② 水・添加剤等 65~75%化学式又は構造式 : ① (C₄H₆O₂.C₂H₄O)_x
② -官報公示整理番号(化審法) : ① 6-682
② -官報公示整理番号(安衛法) : ① 既存
② -CAS番号 : ① 25213-24-5
② -

4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動させ安静にし、直ちに医師の処置を受ける。必要に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 多量の水および石鹼で洗い流す。症状が出た場合は、必要に応じて医師の診断を

竹林化学工業株式会社

受ける。

- 目に入った場合 : 直ちに清浄な流水で15分以上洗眼した後、医師の処置を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 多量の水を飲ませ吐かせる。意識の無い場合は口から何も与えてはならない。医療処置を受ける。
- 応急措置をする者の保護 : 救済者は、ゴム手袋、ゴーグル等の適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂。
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし
- 特有の危険有害性 : 情報なし
- 特有の消火方法 : 化学的に安定であり、燃焼しない。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- : 作業には、必ず適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。
処理が終わるまで十分な換気を行う。

環境に対する注意事項 : 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

除去方法 : 少量の場合、土砂やおがくず等に吸収させる。
残留物が極少量の場合は大量の水で洗い流す。二次災害の防止策 : 漏出物の上をむやみに歩かない。
回収物は法令に従い適切に処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
- 注意事項 : 口に入れたり、眼に入らないよう気を付ける。
- 安全取扱い注意事項 : 作業場の換気を十分に行う。保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

保管

適切な保管条件 : 屋内の通気のよい場所で容器を密閉して保管する。
凍結しない場所に保管する。

安全な容器包装材料 : 製品使用の容器に準ずる。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

管理濃度 : -

許容濃度

保護具

- 呼吸器用の保護具 : 防塵マスク
- 手の保護具 : 適切な保護手袋
- 眼の保護具 : 側板付保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面)
- 皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業衣等。

適切な衛生対策 : 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

9. 物理的及び化学的性質

竹林化学工業株式会社

物理状態

形状	: 液体
色	: 黄色
臭い	: わずかな酢酸臭
臭いの閾値	: データなし。
pH	: データなし。

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

沸点	: 約100°C水として。
融点	: データなし。
分解温度	: データなし。
引火点	: データなし。
発火点	: データなし。

爆発特性

爆発限界 上限	: -
爆発限界 下限	: -
蒸気圧	: -
蒸気密度	: データなし。
比重	: データなし。

溶解性

水溶解性	: 可溶
溶媒溶解性	: -
n-オクタノール/水分配係数	: データなし。
自然発火温度	: データなし。
その他のデータ	: データなし。

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常取り扱い条件において、光、熱、衝撃に対し化学的に安定。
危険有害反応可能性	: 通常取り扱いにおいては有害反応性はない。
避けるべき条件	: 知見なし。
混触危険物質	: 知見なし。
危険有害な分解生成物	: 知見なし。
その他	: 情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: LD50ラット 2000mg/kg超(ポリビニルアルコールとして)
(経皮)	: LD50ラット 2000mg/kg超(ポリビニルアルコールとして)
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	: 5%のポリビニルアルコール水溶液(食塩濃度0.9%)を1ml、25日間、毎日ラットに皮下投与したところ高血圧や腎臓、肝臓及び心臓の肥大が認められた。

12. 環境影響情報

生態毒性	: ヒメダカLC50 1,000mg/L(完全けん化品48時間)ポリビニルアルコールとしてシュドモナス菌を含有するスラッジによって生分解する。
残留性/分解性	: ポリビニルアルコール水溶液はシュドモナス菌を含有するスラッジによって生分解する。
生体蓄積性	: 濃縮性が無いまたは低いと判断される物質に分類されている。(ポリビニルアルコール)
土壌中の移動度	: データなし。
その他のデータ	: データなし。

竹林化学工業株式会社

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者や処理業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。活性汚泥法が適する。
- 汚染容器及び包装 : 空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者や処理業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。

14. 輸送上の注意

- 国内法規制 陸上輸送 : 該当しない。
海上輸送 : 該当しない。
航空輸送 : 該当しない。
- 国際法規制 : 該当しない。
国連分類 : 該当しない。
国連番号 : 該当しない。
国連品名 : 該当しない。
容器等級 : 該当しない。
海洋汚染物質 : 該当しない。

輸送の特定の安全対策及び条件

- : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

- 国内適用法 : -

16. その他の情報

引用文献

- 1) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE)
- 2) 原料SDS

※ ここに記載した情報は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性がありうるため、取扱いには細心の注意が必要です。使用前のテストを含め、本品の適性に関する決定は使用者の責任において行ってください。

記載内容の問合せ先

- 会社 : 竹林化学工業株式会社
担当部門 : 品質管理部